

MRI 検査をお受けになる方へ



MRI 検査とはどんな検査？

MRI 検査はトンネル型の装置に体を入れて、強い磁石と電波によって体の中の様子を写真にする検査です。体のタテ、ヨコ、輪切りの鮮明な断層写真が得られ、診断に大変役に立ちます。

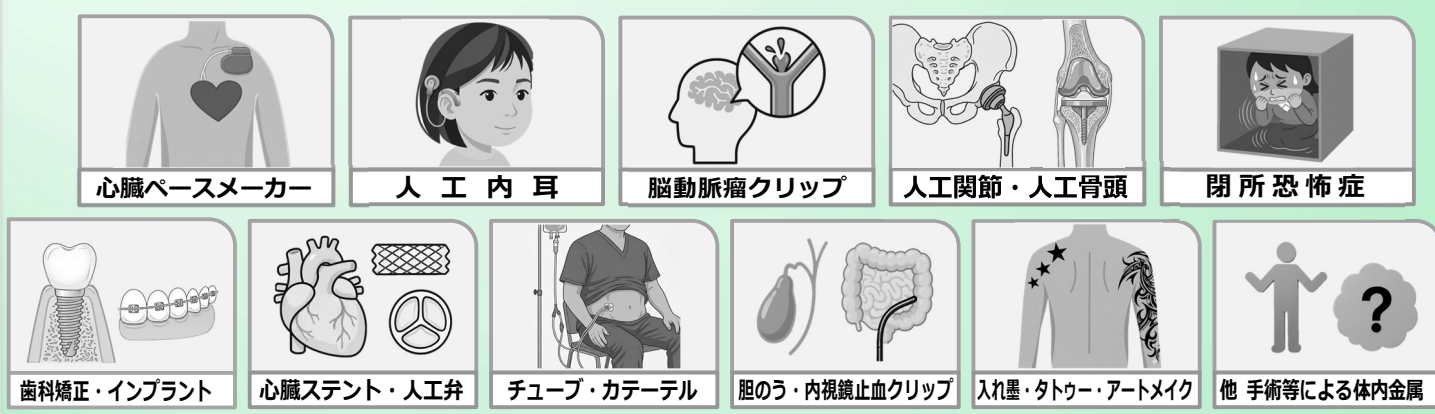


MRI 検査を受けるに当たっての事前注意事項

検査当日の食事は普通にとりください。指示があった場合、食事を控えていただくこともあります。次のような方は検査ができない場合がありますので、必ず事前にお知らせください。

- 心臓ペースメーカー、埋込除細動器を体内に入れている方（MRI 対応のものは可）
- 脳動脈瘤の手術をしてクリップが入っている方（MRI 対応のものは可）
- 手術などで体内に人工関節などの金属が入っている方（MRI 対応のものは可）
- 人工内耳を埋め込んでいる方
- 閉所恐怖症など狭い場所が苦手な方（トンネル型の装置の中に入ります）

取り外しができない金属・機器



また、体内に金属製品や機器、素材のわからないものがあると、機器の故障・吸着事故・人体のやけどなどの事故につながるため、検査ができない場合があります。

手術などにより体内に金属製品や機器、その他何か挿入されているものがある場合には、入れたご施設に MRI 検査が可能かどうかご確認ください。

検査前の準備

次のようなものは MRI 室に持ち込めませんので、必ず取り外してください。

- 補聴器、入れ歯、義手、義足、義眼
持続血糖測定器（リブレ） など
- 金属類 … 時計、眼鏡、アクセサリ、ヘアピン
- 金属のついた服 … ブラジャー、ベルト
ファスナーのついた服、金属のボタン
補正下着、保温性下着（ヒートテックなど）
- 財布・カード … キャッシュカード、クレジットカード、駐車券
- 湿布、エレキバン、ホッカイロ、貼付薬 など
- スマートフォン、携帯電話、電子機器、鍵
- カラーコンタクトレンズ
- かつら、ウィッグ、増毛パウダー
- アイシャドウ、マスカラ、マニキュア、ジェルネイル など

取り外せる金属・機器



上記のものを MRI 室に持ち込んだ場合、検査や画像に悪影響を及ぼしたり、人体のやけど・吸着事故・機器の故障の原因となりますので、入室の際は十分ご注意ください。

※カラーコンタクトレンズをご使用の方は、検査前に取り外していただきますので容器、保存液をお持ちください。

※アイメイクは画像に影響し発熱によるやけどの原因となるため、検査当日はなるべく薄化粧にご協力ください。

※増毛パウダーは装置に付着し、故障の原因となりますので必ずご使用をお控えください。

※保温性下着(ヒートテックインナー)は金属繊維が含まれており、画像に影響し発熱の原因となりますので検査前に更衣室にて脱いでいただきます。金属のついていない衣類での検査は可能です。検査着もご用意しております。

※マニキュア、ジェルネイル、マグネットネイル等はやけどや変形変色の可能性がありますので、検査当日はお控えください。

検査開始、検査中のお願い

- ・トンネル型の MRI 装置の検査台に寝て検査をします。
- ・検査時間はおよそ 20～30 分くらいです。体の力を抜いてリラックスしてください。
- ・検査中はトントントン、ダダダダといったとても大きな音がします。
- ・耳栓をつけて検査を受けていただきます。
- ・MRI 検査は動きに弱い検査です。お体を動かさないように寝ていてください。